

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 96

23年度の事業実施状況	内 容	規模	事業費(千円)	
			単位	事業費(千円)
(1) 主な取組み	阿佐谷七夕まつり補助	1	団体	1,500
	東京高円寺阿波おどり大会補助	1	団体	2,000
	観光PR(マップづくり)委託	5	地域	1,038
	観光PR(マップづくり)印刷費			322
	その他 ()			0
(2) 事業実績	<p>○阿佐谷七夕まつりは、昨年より5万人増え、70万人の来場者がありました。</p> <p>○東京高円寺阿波おどり大会は、「がんばろう日本!!東日本大震災復興支援」を合い言葉に、東日本大震災・電力不足などの現状を考慮し、初めて昼の時間帯での開催となりましたが、90万人の来場者がありました。</p> <p>○観光PRの一環として、荻窪北エリア、荻窪南エリア、永福町エリア、上井草エリア、高円寺エリアの「駅からお散歩マップ」を作成しました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	阿佐谷七夕まつりは昭和29年から、東京高円寺阿波おどり大会は昭和32年から、いずれも商店街の販売促進を目的としてスタートし、年を重ねるごとに盛大になり、東京都を代表する夏の風物詩として定着しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	東京高円寺阿波おどり大会について、ごみ・騒音・交通混雑などについて改善の要望があります。
	今後の予測	阿佐谷七夕まつりは、平成24年度から阿佐ヶ谷駅周辺の10商店会で結成した連合会による開催へと発展し、駅南側だけではなく、阿佐谷地域全体の広域的な夏のイベントとして開催されます。 東京高円寺阿波おどり大会は、今後も観客や踊り手の増員が予測され、ますます盛大になっていくものと予測しています。
評価と課題	<p>阿佐谷七夕まつり、東京高円寺阿波おどり大会に160万人もの来場があり、観光、区内の商業振興という点からも大きな成果を挙げています。</p> <p>このイベントの他にも杉並区の魅力は数多くありますが、幅広く集客できるような有名な観光資源がない現状から、いかに来街者を増やし、まちのにぎわいや活力を創出するための観光振興施策をどのように行っていくかが今後の課題です。</p> <p>また、観光施策を体系化し、商店街振興や中小企業振興を関連付けて行う必要があります。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更		<input type="radio"/> 実施方法の変更	
	<p>いずれのイベントも開催規模の拡大に伴い、一層の安全対策を図る必要があり、主催者を中心に、警察、消防、交通機関等と連携し、来場者が安全に楽しめる区を代表するイベントとして開催できるよう支援していきます。</p> <p>今年度は、「産業振興審議会」において、産業振興計画の改定に向けた審議を行っていきます。産業振興計画の改定作業の中で、今後の観光施策のあり方についても新たな視点での方向性を示せるよう検討していきます。</p>					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		環境と共生できる産業の支援		款	3	項	5	目	1	事業	5	整理番号	97	
担当部課名		産業振興センター		係名	中小企業支援係		連絡先電話番号	5347-9182		昨年度整理番号	101			
(平成23年度担当部課名)				区民生活部産業振興課				予算事業区分	既定事業					
事業開始		平成	▼	14	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠 (1) 杉並区創業支援施設運営要綱 法令等 (2) 職業安定法						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		まちと調和した産業の創業を予定している個人、もしくは法人、または創業3年未満の個人・法人。求職者・事業者。					活動指標名(式)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○創業支援:都市型ビジネス事業者の開業促進 ○就労相談:求職者に対し自己に適した職業選択や就労に関する様々な相談・情報提供					(1) 講座・セミナー実施回数 (2) 就労相談実施回数						
	成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標											
成果指標名(1)		講座・セミナー参加者数												
算定式・指標の説明等														
成果指標名(2)		就労相談利用者数												
算定式・指標の説明等														
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績			
指標	活動指標(1)	①	回	10	5	1	5	3	5	60.0				
	活動指標(2)	②	日	48	48	50	48	49	51	102.1				
	成果指標(1)	③	人	210	200	151	200	53	200	26.5				
	成果指標(2)	④	人	148	300	203	300	174	300	58.0				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	10,877	10,945	9,285	10,328	9,525	12,285	23年度予算執行率%		92.2		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	71	0	0	10,000	特記事項 平成24年度のSOHO施設の事業費については、「中小企業・団体等に対する支援」に含めています。				
	(内)委託費	⑦	千円	4,713	3,793	3,525	4,137	3,897	8,485					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.96 0.00	1.30 0.00	1.39 0.00	0.90 0.50	1.30 0.50	1.30 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	17,403	11,596	12,399	8,010	11,570	11,570				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	1,540	1,540	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	28,280	22,541	21,684	19,878	22,635	23,855					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	2,828,000	4,508,200	21,613,000	3,975,600	7,545,000	2,771,000					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	2,970	2,943	2,651	2,943	2,562	2,943				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	163	163	0				
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	2,970	2,943	2,651	3,106	2,725	2,943				
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	25,310	19,598	19,033	16,772	19,910	20,912					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	10.5	13.1	12.2	14.8	11.3	12.3						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 97

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		阿佐谷キック・オフ/オフィス運営	9	室	7,632
		就労支援セミナー業務委託	3	回	755
		就労相談業務委託	49	日	854
		その他 ()			284
	(2) 事業実績	阿佐谷キック・オフ/オフィスは、入居期限満了による空室発生に伴い、入居者の公募を2回行い、審査会を経て5事業者の新規入居がありました。求職者に対し、就職対策セミナー、福祉のお仕事フェア面接対策セミナー、女性就労支援セミナーを、面接の方法など実践的な内容で実施しました。就労相談専門相談員(キャリアカウンセラー)が個別面談によりアドバイスをを行い、就労へ向けた支援を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高い水準の失業率や、非正規雇用の増大など、雇用情勢の悪化が続いています。平成23年12月の全国の若者(15~24歳)の完全失業率は9.3%と、全体の平均値の4.6%と比べておよそ倍の高い水準となっているなど、近年特に若年者の雇用状況が厳しくなっています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	就労支援について、より充実した相談の実施や、ハローワークの設置による区内での就労あっせんの実現などを求める声が出ています。
	今後の予測	会社創業時の資本金額の要件緩和や、団塊世代の退職などにより、起業を目指す人は今後増えていくことが予測されます。また、引き続き不況の中で、雇用情勢の好転は望めず、就労支援に対するニーズは増すものと思われます。
	評価と課題	阿佐谷キック・オフ/オフィスは、退去後、区外に転出する事業者が多く、区内に定着するための支援が必要となっています。就労相談については、具体的な職業紹介は行っていないため、相談から職業紹介までワンストップで行えるための実施方法が課題です。また、雇用情勢が特に厳しい若年者に対する総合的・継続的な就労支援が求められています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
キック・オフ/オフィスは、区内経済活性化のための創業支援施設として、退去後の区内での事業継続が図れるような支援の方法を検討していきます。 平成24年度には、区とハローワークとが一体的な運営を行う(仮称)杉並区就労支援センターの開設を予定しています。ハローワークコーナーの設置により職業紹介機能を持つとともに、区は若年者を対象に就労支援を行います。専門相談員の配置によるきめ細やかな相談をはじめ、講座やセミナーなど各種就労支援事業の実施など、就労を希望する若者のスキルアップを図り、ハローワークでの就労に結び付けていきます。 就労支援センターの取り組みを中心に、現役世代への就労支援や地域の人材を育成する取り組みを進め、区内の産業・経済活動を支援していきます。			

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	アニメの杜すぎなみ	款	3	項	5	目	1	事業	6	整理番号	98			
担当部課名	産業振興センター	係名	産業観光係			連絡先電話番号	5347-9138			昨年度整理番号	102			
(平成23年度担当部課名)		区民生活部産業振興課						予算事業区分		既定事業				
事業開始		平成	▼	12	年度							<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業		
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠 (1) 法令等 (2)						
	区民、アニメ産業関係者、アニメーターを目指す人、アニメに関心のある人													
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)											
	○アニメに親しむ機会を提供し、「アニメのまち杉並」の知名度を高め、アニメ産業の振興を図る。 ○杉並をアニメーションのメッカにする(経営基盤強化、事業拡大、インフラ整備の支援) ○企業と人材のネットワークをつくる(ネットワーク化、創業・人材育成支援)		(1) アニメーションフェスティバル来場者数 (2) 研修受入数											
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標												
○区公式アニメキャラクター「なみすけ」の区民と区とのコミュニケーションツールとしての活用と、知的財産権に基づくライツビジネスの展開		成果指標名(1)		アニメーションフェスティバル来場者数										
		算定式・指標の説明等												
		成果指標名(2)		研修修了者の内、実際にアニメ制作会社に就職した人数										
		算定式・指標の説明等												
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	①	人	10,516	9,000	10,091	-	-	-	/				
	活動指標(2)	②	人	7	8	8	-	-	-	/				
	成果指標(1)	③	人	10,516	9,000	10,091	-	-	-	/				
	成果指標(2)	④	人	6	7	8	-	-	-	/				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	20,102	16,771	14,849	6,377	5,964	-	23年度予算執行率% 93.5				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	-	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	12,400	9,571	8,389	4,665	4,259	-					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.25	0.00	1.60	0.00	1.80	0.00	1.80	0.30	1.00	0.30	
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	19,978	14,272	16,056	8,900	16,020	8,900	平成22年度に行った「事務事業等の外部評価」結果を踏まえ、これまでの本事業の主な活動内容は以下のとおりとなっています。 ・アニメ匠塾:22年度をもって廃止 ・アニメーションフェスティバル:23年度は休止し、地域活性化策として事業の見直しを検討 そのため、23・24年度の活動指標・成果指標の計画・目標欄は空欄となっています。 ○24年度は、本事業と「99 アニメーションミュージアム運営」を統合し、事務事業名「アニメの振興と活用」に再編しています。			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	924	924				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	40,080	31,043	30,905	15,277	22,908	/					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	3,811	3,449	3,063	/		/					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0			そのための、23・24年度の活動指標・成果指標の計画・目標欄は空欄となっています。 ○24年度は、本事業と「99 アニメーションミュージアム運営」を統合し、事務事業名「アニメの振興と活用」に再編しています。	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	40,080	31,043	30,905	15,277	22,908	/					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	/						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 98

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		アニメキャラクターグッズ制作委託	6,000	個	3,397
		アニメキャラクターデザイン委託	25	件	500
		その他 (需用費 ほか)			2,067
	(2) 事業実績	アニメPR事業では、上井草商店街からの要望を受け、「アニメのまち上井草」のシンボルである上井草駅前ガンダムモニュメント(平成21年3月製作)の修繕を行いました。アニメキャラクターの普及では、なみすけグッズのリニューアル版の販売を行ったほか、区内外のイベントに着ぐるみを出演させ、区民と区をつなぐコミュニケーションツールとしてキャラクターの積極的な活用を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	アニメーションフェスティバル 平成13年度から平成22年度まで、年1回開催。延べ参加者数約87,000人。 平成23年度は休止とし、地域活性化策として見直しを検討しました。 杉並アニメ匠塾(アニメ制作会社における現場研修を中心とした実践型アニメーター人材育成事業) 平成14年度から平成22年度まで、修了者数延55名。 「事務事業等の外部評価」結果を受け、平成22年度を持って事業を廃止。	
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	平成23年度は、練馬区をはじめとする他区と連携したアニメ観光施策の提案をいただきました。	
	今後の予測	事務事業の主な活動内容が、休止・廃止となったため、本事業を他事業と統合し、「アニメの振興と活用」という事業に再編しました。今後は、今年度設置した「杉並区アニメ施策に関する懇談会」の提言を受け、改定予定の産業振興計画との整合も図りながら、今後のアニメ施策を再構築し、アニメの振興策について具体化していきます。	
	評価と課題	「アニメの杜すぎなみ構想」に基づくこれまでの取組により、「アニメのまち杉並」の認知度は確実に向上していますが、本事業の主な活動内容だった「アニメ匠塾」は平成22年度をもって終了し、「アニメーションフェスティバル」は、平成23年度の実施は休止としました。 今後はアニメ産業の振興とともに、その振興による成果として、アニメを活用した商店街の活性化やまちのにぎわいを創出するための方策を検討し、具体化していくことが課題となっています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
	平成24年度は、アニメ施策の振興を図るとともに、アニメの持つ発信力や集客力、まちや人に活気を生む娯楽性の高さが生かされるよう、アニメ施策を再構築するため、有識者による「杉並区アニメ施策に関する懇談会」を設置し、今後の区のアニメ振興施策の方向性について検討していきます。 また、区公式アニメキャラクターの「なみすけ」について、区民と区とをやさしくつなぐコミュニケーションツールとして引き続き活用を行うほか、キャラクターの持つ力を最大限に生かし、地域の活性化に向けた活動を引き続き支援していきます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	アニメーションミュージアム運営			款	3	項	5	目	1	事業	7	整理番号	99	
担当部課名	産業振興センター			係名	産業観光係			連絡先電話番号	5347-9138			昨年度整理番号	103	
(平成23年度担当部課名)				区民生活部産業振興課						予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	15	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠 (1) 法令等 (2)						区民、アニメ産業関係者、区外来場者	
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○区のアニメーション振興の核となる施設とする。 ○国が計画しているアニメーションセンターの区誘致のための先行投資的な取組みとして展示内容の充実を図る。 (平成15年9月12日経営会議)						活動指標名(式)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○常設展、年4回の企画展、アニメ制作体験の実施 ○アニメシアターでの上映 ○アニメ関係者のインタビュー映像の制作・保存 ○地域の子どもやシニア層との交流を深めるアニメワークショップ等の開催						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 1日あたり来場者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						
区分		単位	21年度		22年度		23年度			24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		計画	
指標	活動指標(1)	①	人	57,928	55,000	50,420	40,000	31,169	40,000	77.9				
	活動指標(2)	②	日	306	303	288	268	266	306	99.3				
	成果指標(1)	③	人	189	180	175	150	117	130	78.0				
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	66,225	63,886	62,157	60,177	54,067	64,891	23年度予算執行率% 89.8				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	213	213	0	特記事項 ○事業費の執行残は、東日本大震災の影響により、平成23年4月は休館とし、7月～9月に臨時休館日を設けるなどの対応を図ったため、運営委託費の縮減によるものです。また、開館日数の縮小に伴い、国内外の団体来館者も大幅に減少するなど、来館者数が減少しました。 ○24年度は、本事業と「98 アニメの杜すぎなみ」を統合し、事務事業名「アニメの振興と活用」に再編しています。事業費は、両事業を合算した額で記載しています。				
	(内)委託費	⑦	千円	58,567	56,163	55,396	50,760	45,675	54,277					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.13 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.40 0.00	1.22 0.00	1.00 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	10,033	8,920	8,920	12,460	10,858					8,900
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	76,258	72,806	71,077	72,637	64,925	73,791					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	1,316	1,324	1,410	1,811	2,076	1,845					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	76,258	72,806	71,077	72,637	64,925	73,791					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 99

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		アニメーションミュージアム運営業務委託	1	館	36,010
		建物総合維持管理等委託			8,874
		光熱水費			3,957
		その他（資料収集・事務処理委託・通信運搬費ほか）			5,226
	(2) 事業実績	企画展を2～4ヶ月間ずつ4回実施し、6月には被災地裏磐梯を支援するチャリティーイベントを開催、2月には女子美術大学と連携したワークショップイベントを開催しました。 8月にアニメ施策懇談会を実施し、アニメーションミュージアムの活用も含め、これまでのアニメ施策についての検証と今後の施策のあり方について検討を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年4月に開設した「杉並アニメ資料館」の面積・展示内容を拡充し、平成17年3月に「杉並アニメーションミュージアム」としてリニューアルオープン後、平成24年5月には入館者数が35万人を突破しました。 海外からの来館者も、アメリカ・中国を中心にこれまで1万人以上が来館するなど、「杉並アニメーションミュージアム」は海外のアニメファンにも認知されています。 また、平成22年度に実施した事務事業等の外部評価(杉並版「事業仕分け」)の評価結果を受け、アニメーションミュージアムの今後のあり方を検討することとしています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	○平成23年度は、アニメーションミュージアムの存続・拡大を求めのご意見をいただきました。 ○平成23年度に実施した「杉並区産業実態調査」では、区のアニメーション産業に対する区民の期待として、「区の独自の地域文化として定着する(43.4%)」、「区の知名度が高まる(42.0%)」、「区独自の地場産業として発展する(37.7%)」が4割前後となっています。
	今後の予測	事業目的である区のアニメーション振興の核となるための機能としては、現状の立地や設備面からも決して十分とはいえず、区のアニメ施策全体を再構築する中で、今後のアニメーションミュージアムのあり方を検討し、その結果を踏まえた運営を行っていきます。 また、近隣自治体がアニメ施策に力を入れている中で、これまでの杉並区の取組が埋没しないよう、区のアニメ施策に対する期待が高まることが予想されます。
	評価と課題	「杉並アニメーションミュージアム」を設置している「杉並会館」が老朽化していること、来館者の利便性が高いとはいえない現状の立地条件なども踏まえ、今年度予定されている区立施設の再編・整備の検討の中で、今後のミュージアムのあり方についても検討していきます。 また、アニメ施策の再構築を行う中で、観光や地域の活性化などの視点から、ミュージアムが果たすべき機能についても明確にするなど、見直しを図っていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更	○ 実施方法の変更		
		平成24年度は、アニメ施策の振興を図るとともに、アニメの持つ発信力や集客力、まちや人に活気を生む娯楽性の高さが生かされるよう、アニメ施策を再構築するため、有識者による「杉並区アニメ施策に関する懇談会」を設置し、今後の区のアニメ振興施策の方向性について検討していきます。その中で、商店街の振興等の地域活性化と結びつけたミュージアムの施設機能のあり方についても検討します。				

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	産業商工会館維持管理	款	3	項	5	目	1	事業	8	整理番号	100	
担当部課名	産業振興センター	係名	管理係			連絡先電話番号	4112			昨年度整理番号	104	
(平成23年度担当部課名)		区民生活部産業振興課						予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	40	年度							<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 区内の産業団体及び区内の中小企業(農業を含む)に従事するもの				根拠法令等	(1) 地方自治法第244条 (2) 杉並区立産業商工会館条例					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○杉並区における産業の振興発展を図る 区内産業団体への商品展示会場・会議場等の提供 住民の地域コミュニケーションの場の提供				活動指標名(式)	(1) 利用回数 (2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○産業商工会館を指定管理者制度により運営 ○区内産業団体及び住民への施設の貸出				成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
		成果指標名(1)	利用率		算定式・指標の説明等	利用回数÷{(365日-12日-7日)×3回×6部屋}						
		成果指標名(2)			算定式・指標の説明等							
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度計画	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績					
指標	活動指標(1)	①	回	4,223	4,000	3,921	4,000	4,297	4,000	107.4		
	活動指標(2)	②										
	成果指標(1)	③	%	67.8	64.2	63.0	64.0	69.0	64.0	107.8		
	成果指標(2)	④										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	40,977	39,100	38,267	39,510	38,725	40,500	23年度予算執行率% 98.0		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	502	0	84	0	85	0	特記事項		
	(内)委託費	⑦	千円	39,348	38,400	38,183	38,460	38,400	39,630			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.39 0.00	0.25 0.00	0.27 0.00	0.30 0.00	0.40 0.00	0.00 0.50			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	3,463	2,230	2,408	2,670	3,560		0	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0		1,540	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	44,440	41,330	40,675	42,180	42,285	42,040			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	10,404	10,333	10,352	10,545	9,821	10,510			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	3,086	3,086	3,146	3,086	3,099		3,086	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	3,086	3,086	3,146	3,086	3,099	3,086			
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	41,354	38,244	37,529	39,094	39,186	38,954			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	6.9	7.5	7.7	7.3	7.3	7.3				

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 100

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		管理運営(指定管理者)	1	館	38,400
		備品購入			85
		その他 ()			240
	(2) 事業実績	平成23年度の各室利用実績の合計は、4,297件で前年度より増加しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区内産業の振興と地域社会の活性化のため、産業団体の使用が中心となることを予定していましたが、一般住民団体(さざんかねっと登録団体)の利用が平成23年度2,153件で総利用件数の50.1%、産業団体の利用は853件で総利用件数の19.9%となりました。指定管理者による自主事業への取り組みが活発になってきています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者の利用が増えている状況下で、エレベーターの設置要望が多くあります。
	今後の予測	産業団体(3団体)が、平成24年5月末に産業商工会館から産業振興センターと同一フロア内に移転しました。産業団体の利用は、横ばい若しくは減少が予測されます。また、建物の老朽化による劣化が激しく修繕費の増加が見込まれます。
	評価と課題	前年度に比べ総利用件数は増加しましたが、産業団体の利用減が予測されるため、指定管理者と協力し、産業団体の利用率の向上を図っていく必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
	平成24年度から3年間、前回に引き続き産業商工会館運営協議会を指定管理者として管理運営を委託しました。指定管理者には自主事業企画等により利用率向上を図る努力を促していきます。平成27年度に耐震改修工事を予定しているため、その間の施設利用について検討していきます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 101

23年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1) 主な取組み	ウェブサイト「すぎなみ学倶楽部」の運営等業務委託				6,736
	運営委員謝礼				50
	その他(需用費、通信運搬費、手数料)				30
(2) 事業実績	平成18年度から継続して区民参加型ウェブサイト「すぎなみ学倶楽部」を業務委託により運営しました。区民ライターの取材・執筆により年間137本の番組を更新するとともに、公募の運営委員による番組評価を実施しました。平成23年度閲覧数:535,422回(月平均約44,619回)				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	インターネット利用者数が年々増加し、インターネットによる情報収集がより一般的な状況になっています。 ○インターネット人口普及率:H19 73.0%(8,811万人)→H23 79.1%(9,610万人) また、スマートフォンが開発され、若年層を中心として急速に普及している。 ○情報通信機器の普及状況(世帯):H19 9.7%→H23 29.3% *総務省:通信利用動向調査
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	すぎなみ学倶楽部関係者から、「開設以来ウェブサイトの枠組みが変わってないため、時代に即してリニューアルする時期になっている」との意見があります。 また、学術的な内容と地域の情報、なみすけブログなどが混在し、閲覧しにくいとの意見がある一方、様々な情報が詰め込まれ、魅力を高めているとの意見があります。
	今後の予測	スマートフォンの普及により「歩きながら情報を探す」ことがより一般的になることが予想されます。
評価と課題	事業費を圧縮しながら、目標の100本を大きく上回る137本の番組を更新しましたが、月平均の閲覧数は震災前ほどには回復していません。 スマートフォンなど新形態の端末に即してサイトを再編するばかりでなく、区内産業の活性化や観光などの新しい視点から、より魅力的なコンテンツを収集・編集する必要があります。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現 状 維 持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更		<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更	
	区民の参加と協力のもと、地域の価値や魅力を発掘し、まちの個性や文化などについて発信している「すぎなみ学倶楽部」は、コンテンツの充実を図りつつ、区や地域に対して愛着を持っていただくことに寄与するなど、一定の成果を上げていると考えています。 一方で、B級雑学から、文化の視点によるすぎなみ学への取組みも必要です。 今後は、これまで蓄積した情報の活用や新たなコンテンツの開発などにより、区内産業の活性化や観光施策の振興へ結びつけるための方策を検討していきます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		電子地域通貨		款	3	項	5	目	1	事業	10	整理番号	102	
担当部課名		産業振興センター		係名	電子地域通貨担当		連絡先電話番号	5347-9184		昨年度整理番号	105			
(平成23年度担当部課名)				区民生活部産業振興課					予算事業区分	規定事業				
事業開始		平成	▼	22	年度								<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠 (1) 法令等 (2)						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							活動指標名(式)						
	○区内の経済循環の創出・地域経済の活性化 ○地域コミュニティの醸成 ○区民の利便性の向上							(1) (2)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標												
○杉並区行政サービス民間事業化提案制度テーマ型で選定された事業者と協働で、非接触型高機能カードを活用し、区内のみで循環する電子媒体での「地域通貨」制度を構築する。 ○構築したインフラを活用し、会議室・駐輪場等の使用料及び住民票等の発行手数料の電子マネーでの支払い、高齢者見守りサービス等、重層的な行政・民間サービスの展開を検討する。		成果指標名(1) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等												
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績		計画	実績		計画(目標値)		実績	計画			
指標	活動指標(1)		①											
	活動指標(2)		②											
	成果指標(1)		③											
	成果指標(2)		④											
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	0	49,593	49,537	25,642	24,342	1,500	23年度予算執行率% 94.9			
	(内)投資的経費等		⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 本事業はまだ準備段階であることから、活動指標・成果指標の実績、及び目標値はありません。			
	(内)委託費		⑦	千円	0	49,190	49,134	24,852	23,993	350				
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	0.00 0.00	1.45 0.00	1.72 0.00	3.00 0.00	3.52 0.00	3.00 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	12,934	15,342	26,700	31,328	26,700				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	0	62,527	64,879	52,342	55,670	28,200				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円										
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	0	0	0	0			0	
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	0	0	0			0	
		都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0			0	
		その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0			0	
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	0	62,527	64,879	52,342	55,670	28,200					
受益者負担比率⑬÷⑪		⑲	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 102

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				全体計画案・インフラ設計・開発修正等業務委託	
		電子地域通貨推進委員会(合同部会)講師謝礼	1	回	100
		商連・東商勉強会講師謝礼	2	回	140
		商連・東商との意見交換会	6	回	0
		その他(書籍、消耗品ほか)	109		
(2) 事業実績		事業の実施に向け、東京商工会議所杉並支部や杉並区商店会連合会の代表者と意見交換会を開催し、検討・協議のうえ、事業スキームの見直しを行いました。また、各団体別の勉強会や電子地域通貨推進委員会合同部会を開催するとともに、町会やNPO、学校支援本部等の関係者に事業説明及び意見聴取を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	内 容
		平成21年度に杉並行政サービス民間事業化提案制度により協働事業者を選定し、平成22年度に事業の計画案の策定を行いました。平成23年度は、商店・商店会や議会などから事業に対する様々な意見があることを踏まえ、実施を延期し、再度、検討及び協議を行うとともに、必要な修正を行いました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	今後も拡大が予測される電子マネーを活用した事業であること、様々な行政サービス等を一枚のカードで取り扱う計画であること、区内全域での規模のポイントサービス等のシステムを導入できること、等から、早期の導入を期待する意見があります。一方で、店舗の費用負担や、これまで個店や商店街が独自で行ってきた取り組みとの関係等から、再検討を行い、慎重に進めて欲しい旨の意見があります。
	今後の予測	平成23年は流通を目的とした一円硬貨、五円硬貨及び五十円硬貨は製造されませんでした。これは電子マネーの普及によるもので、その決済額は今や全国で2兆円を超える規模になっており、民間シンクタンクの試算では、平成27年には5兆円になると試算されています。また、本事業で活用を予定しているフェリカチップは既に5億個以上が発行されており、国内の非接触式のカードでは圧倒的に普及しています。
	評価と課題	本事業は、商店街と地域の住民を繋ぎ、町会・自治会や学校、NPO等の地域団体を含めた地域全体の活性化を図るツールとして準備を進めています。しかし、商店・商店街からは費用負担等について、まだ様々な意見があることから、これらを踏まえ、理解を得ながら着実に事業を推進していきます。なお、本事業の成功には商店街自身の意欲が何よりも重要であるため、意欲のある商店街が存立する地域からの導入を検討していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	II 事業の改善
			<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
<p>当初の計画では全区規模での事業の開始を計画していましたが、事業の成功には商店街の意欲が何よりも重要です。将来の商店街を担うリーダーが自ら成功モデルを作り、区内全体に拡大しようとする意欲に対し、行政として支援する方策を検討・実施していきます。</p>			

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	農業委員会の運営		款	3	項	5	目	2	事業	1	整理番号	103	
担当部課名	産業振興センター		係名	都市農業係		連絡先電話番号	5347-9136		昨年度整理番号	106			
(平成23年度担当部課名)			区民生活部産業振興課					予算事業区分	既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	26	年度								<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 農業委員会等に関する法律 (2) 農地法				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○農業者・農業団体の援助 ○農地の保全と農業経営の向上		活動指標名(式)		(1) 農業委員会総会の開催数 (2) 諸証明の承認・発行件数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○農業委員会総会の開催(年12回) ○農業・農地等に関する諸証明の発行 ○農地・農業生産・経営等に関する調査指導の実施 ○広報誌の発行(年2回)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
		成果指標名(1)		(代)農家戸数		算定式・指標の説明等							
		成果指標名(2)		(代)農地面積		算定式・指標の説明等							
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	① 戸	12	12	12	12	13	12	108.3				
	活動指標(2)	② 件	77	70	80	70	78	70	111.4				
	成果指標(1)	③ 戸	173	173	170	170	163	163	95.9				
	成果指標(2)	④ ha	50.72	50.72	50.34	50.70	48.83	48.83	96.3				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	6,134	8,016	5,801	8,585	6,163	8,659	23年度予算執行率% 71.8				
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦ 千円	110	133	102	448	373	408					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	1.16 0.00	0.90 0.00	1.05 0.00	1.00 0.20	1.05 0.20	1.00 0.50					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	10,300	8,028	9,366	8,900	9,345					8,900
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	0	0	0	616	616					1,540
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	16,434	16,044	15,167	18,101	16,124	19,099					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	1,369,500	1,337,000	1,263,917	1,508,417	1,240,308	1,591,583					
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0	0	0					0
		国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0					0
		都からの補助金等	⑮ 千円	623	623	626	736	618					618
		その他の補助金等	⑯ 千円	0	0	0	0	0					0
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	623	623	626	736	618	618					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱ 千円	15,811	15,421	14,541	17,365	15,506	18,481					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 103

23年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		農業委員報酬	14	人	4,446
	農業祭等分担金	1	件	675	
	委員費用弁償・行政視察	14	人	243	
	その他（交際費 ほか）			799	
	(2)事業実績	○農業委員会委員改選 ○農業委員会総会 13回開催 ○行政視察 年2回 立川市と千葉県柏市 ○農業委員会だよりの発行 1回 ○農地利用状況調査 9月に実施			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	農地面積/農家戸数 平成元年 89.70ha/377戸 平成24年4月 48.83ha/163戸
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	砂塵や農地の不適正管理など農家と近隣住民とのトラブルが発生している中で、農業委員会の調整役としての役割が求められています。
	今後の予測	農への関心の高まりや、食の安全志向、環境意識の高まり等から、都市農業への注目が集まる一方、宅地化の進展に伴い、砂塵・土砂・鳥獣対策等農地管理の徹底が求められています。しかし、また一方では、宅地化農地は今後も減少していくものと考えられます。
	評価と課題	これまで長年にわたり農業委員会が果たしてきた指導的な役割は高く評価できます。今後、農業者の高齢化や後継者不足等により、さらに急速な宅地化が予測され、同時に住環境意識の高まりや余暇活動に農作業を求めるニーズの増加など、都市農業を取り巻く環境はさらに変化していくものと考えられます。農業委員会をより迅速・効果的に支援していくことが課題です。

改善・見直しの方向（中長期）	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	○ 実施方法の変更		
	市街化区域内農地について相続を中心とした法制度の見直しを国に求める一方、これを待つことなく区としてできる実効力の高い施策検討を行う必要があります。また、農地を「住宅都市に不可欠な環境・基盤」として積極的に評価し、「産業振興」としての側面以上に、「緑地保全」として都市整備施策の中で方向性を明確にすることも重要な課題です。さらに、農業・農地を取り巻く環境の激変や、様々な区民ニーズに応えるために、都市農地を有し共通の課題を抱える自治体相互のさらなる連携を進めていきます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 104

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		企業の農業経営者の育成を目的とした助成 農業祭の支援 地元野菜デーの実施 ほか	6	団体	1,400
			1	回	800
			4	回	0
		その他 (農産物直販マップの作成 ふれあい農業体験の実施)			1,094
	(2) 事業実績	都市農業の必要性を区民に理解してもらうため、農産物直売マップの増刷やふれあい農業体験、農業祭を実施しました。また、区立学校給食へ区内農産物を提供する「地元野菜デー」を支援しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成元年4月 農地面積:89.70ha 農家戸数:377戸 平成24年4月 農地面積:48.83ha 農家戸数:163戸
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	○区内農産物に対する学校給食からのニーズや農業体験への集客状況や区民農園の申込状況等から、都市農業の必要性と期待がうかがえます。 ○平成23年度に実施した「杉並区産業実態調査」では、区内農地に対する区民の意見として、「貴重な緑地として保全して欲しい(69.0%)」「新鮮な農作物が食べられるので生産し続けて欲しい(62.0%)」「体験農園・収穫農園など農作業を身近に学び楽しめる場となってほしい(56.4%)」となっていました。
	今後の予測	都市農地・農業の必要性を住民に理解してもらうとともに、安全・安心な農産物の生産量の向上を図りつつも、相続によって農地は減少していくものと予測されます。
	評価と課題	ふれあい農業体験や農産物即売会等を通して都市農地・農業の必要性について理解されつつありますが、区内農業や区内農産物について、さらにPRに努めていく必要があります。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	○ 実施方法の変更		
		都市農地・農業の持つ多面的機能を多くの区民・農業関係者へ訴え、都市農地・農業の重要性について認知度の向上を図り、区民全体が農地を保全していく機運を盛り上げていきます。				

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		区民農園の維持運営		款	3	項	5	目	2	事業	3	整理番号	105
担当部課名		産業振興センター		係名	都市農業係		連絡先電話番号	5347-9136		昨年度整理番号	108		
(平成23年度担当部課名)				区民生活部産業振興課				予算事業区分		既定事業			
事業開始		昭和	▼	49	年度		<input type="checkbox"/> 主要事業						
事務事業の概要		対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律 (2) 杉並区特定農地貸付規程						
		当選した世帯、利用承認された教育又は福祉を目的とする団体											
事務事業の概要		事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			活動指標名(式)								
		○農園の提供による都市農業への理解喚起 ○農地面積の維持による緑地の保全					(1) 貸出区画数 (2) 農園数						
事務事業の概要		活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
		○1世帯につき1区画(10㎡)を貸与 ○13農園 延べ利用者1,807名			成果指標名(1)		(代)緑地面積						
					算定式・指標の説明等								
					成果指標名(2)								
					算定式・指標の説明等								
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	① 区画	1,720	1,724	1,739	1,777	1,807	1,807	101.7				
	活動指標(2)	② 園	13	13	13	13	13	13	100.0				
	成果指標(1)	③ ha	3	3	3	3	3	3	100.0				
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	8,587	10,599	9,294	8,628	8,147	23,093	23年度予算執行率% 94.4				
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○22年度は隔年実施の抽選会費用が生じています。 ○24年度は区画更新のための整地費用と抽選会費用が生じています。				
	(内)委託費	⑦ 千円	6,577	7,758	7,242	6,707	6,347	20,980					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	1.16 0.20	0.80 0.50	0.93 0.50	1.00 0.20	1.00 0.20	1.00 0.70					
	人件費	⑨ 千円	10,300	7,136	8,296	8,900	8,900	8,900					
	(内)非常勤職員分	⑩ 千円	559	1,475	1,475	616	616	2,156					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	19,446	19,210	19,065	18,144	17,663	10,599					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	11,306	11,143	10,963	10,210	9,775	5,866					
	財源	⑬ 千円	5,281	5,225	5,178	5,307	5,349	5,331					
	国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等	⑮ 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等	⑯ 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰ 千円	5,281	5,225	5,178	5,307	5,349	5,331						
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱ 千円	14,165	13,985	13,887	12,837	12,314	5,268						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲ %	27.2	27.2	27.2	29.2	30.3	50.3						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 105

23年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み	区民農園管理業務委託	13	所		6,197
	光熱水費				1,050
	その他(事務経費 ほか)				900
(2)事業実績	区民農園13園、1,807区画の管理をしました。 ○新規開設 無し				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和49年度に開設。平成23年3月末現在、13園を運営しています。平成10年度と比べ農園数は同数ですが、農地面積の減少に伴い、閉鎖する農園に比べ新規開園する農園が小規模であることから、区民農園全体の面積は、約3.6ha(約2,700区画)から約2.6ha(約1,800区画)に減少しています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	空き区画の間合せ、農園増設の要望など、利用を希望する声が多く寄せられています。一方、近隣住民からは路上駐車、ごみ集積場への投棄、臭気の強い肥料の散布などに対する苦情が寄せられています。また、利用者からは、放置区画や工作物設置、飲酒・宴会、空きスペースでの無断栽培、重複利用、休憩スペースの私物化等の報告があります。
	今後の予測	農への関心の高まりや、食の安全志向、余暇活動への需要増等から、区民農園に対する区民ニーズは、今後も高まると見込まれます。また、環境配備、災害時の避難場所確保の観点から、農地を貴重な緑地として保全することがより重要になります。後継者不足等により農業者から農地の公共使用の依頼が増えるものと考えます。
評価と課題	直近(平成22年度実施)の抽選では当選倍率が2.5倍になるなど、当事業は区民から高い支持を得ているものといえます。その一方、ルールを守らない利用者が後を絶たず、苦情対応や廃棄物処理等に多大な管理コストを要するなど、利用者のマナー向上や新たな管理方法の検討が課題です。また、今後は農地を「都市の中の貴重な緑地」として捉え、都市整備の観点から区民農園のあり方を検討する必要があります。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更		○ 実施方法の変更	
	当選者全員に対し、区民農園の意義、利用方法について説明会を実施し、ルール遵守徹底を図りましたが、違反者が後を絶たず、苦情対応や廃棄物の処理等に人的・金銭的コストを要しています。今後は管理方法について包括委託や指定管理者制度の活用など、適正かつ効率的な管理方法を検討します。また、区民農園は現行の農地法や生産緑地法の下では相続発生時に土地所有者から返還を求められ、直後に宅地化されるケースが大半であるため、中長期的な観点から農地保全につながっていません。今後は農地を「都市の中の貴重な緑地」として捉え、都市整備の観点から、そのあり方を検討する必要があります。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		勤労福祉会館維持管理		款	3	項	5	目	3	事業	1	整理番号	106
担当部課名		産業振興センター		係名	管理係			連絡先電話番号	5347-9134		昨年度整理番号	109	
(平成23年度担当部課名)				区民生活部産業振興課				予算事業区分	既定事業				
事業開始		昭和	▼	59	年度								<input type="checkbox"/> 主要事業
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		区内中小企業在勤者、区民及びそれらが構成する各団体		根拠法令等		(1) 杉並区勤労福祉会館条例 (2) 杉並区立勤労福祉会館条例施行規則					
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○勤労者・区民の文化・教養および福祉の向上を図る 自主的活動、情報交換及び交流 勤労者福祉に資する行政サービス・各種事業提供		活動指標名(式)		(1) 利用回数 (2)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○勤労福祉会館の維持運営		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
				成果指標名(1)		(代)㎡当たりの維持経費							
				算定式・指標の説明等		事業費÷勤労福祉会館面積(2,910㎡)							
				成果指標名(2)									
				算定式・指標の説明等									
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度計画	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績						
指標	活動指標(1)	①	回	15,513	16,500	15,504	16,500	13,868	16,500	84.0			
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	円	20,647	22,617	21,890	24,829	23,461	19,846	94.5			
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	59,097	65,815	62,748	72,253	68,272	57,751	23年度予算執行率% 94.5			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	3,040	618	554	651	650	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	45,132	51,219	50,443	57,975	56,167	44,284				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.22 0.00	0.15 0.00	0.16 0.00	0.10 0.00	0.15 0.00	0.00 0.10				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	1,953	1,338	1,427	890	1,335		0		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0		308		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	61,050	67,153	64,175	73,143	69,607	58,059				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	3,739	4,032	4,104	4,393	4,972	3,519				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	15,738	16,501	17,862	16,417	17,922		16,620		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0		
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	15,738	16,501	17,862	16,417	17,922	16,620				
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	45,312	50,652	46,313	56,726	51,685	41,439				
受益者負担比率⑬÷⑪		%	25.8	24.6	27.8	22.4	25.7	28.6					

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 106

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		建物保守管理委託	1	館	55,972
		光熱水費			8,588
		報償費			0
		その他 (消耗品・備品購入 ほか)			3,712
	(2) 事業実績	中小企業に勤務する方の文化・教養の向上や健康増進を図るため、集会室・ホール・和室・音楽室・トレーニング室等の貸し出しをしました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成9年度23,048件の利用実績をピークに減少し、平成23年度は13,868件となりました。生活様式の多様化により勤労者にとって文化・教養・福祉の向上を図るための活動や拠点の選択肢が増えており、勤労福祉会館の利用は、相対的に低下しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区全体の勤労者の拠点としては、立地条件が悪い(駅から遠く、バスを利用する必要がある)との指摘があります。
	今後の予測	勤労者福祉事業を行っていた(財)杉並区勤労者福祉協会が平成24年3月31日で解散となりました。
	評価と課題	勤労福祉会館は、主として中小企業で働く勤労者の文化、教養、及び福祉の向上を図るための機能を果たしてきました。勤労者福祉事業の区(産業振興センター)への移行や勤労者福祉会館としての利用減少により、当初の設置目的を果たせなくなっていることから、その役割を検討する必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
		地域区民センターとの併設のため、一般区民の施設利用が大半を占めていると思われます。また、勤労者福祉事業を行っていた(財)杉並区勤労者福祉協会が平成24年3月31日で解散し、区内中小企業在勤者・団体利用の減少も見込まれるため、勤労者・区民の文化・教養および福祉の向上を図るための施設としての役割を検討していきます。				

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 107

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		運営等補助金			
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	事業所数:1,441か所 会員数:3,913人 各種セミナー等事業の受講者数:1336人、福祉事業の受講者・あつ旋者数:85人 給付事業利用件数:414件、健康増進事業利用件数:5,144件 自己啓発・余暇活動事業利用件数:27,210件、利用補助(カフェテリアポイント制度)事業:3,410件			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	長引く不況に伴う中小企業経営環境の悪化に伴い、公的な中小企業福利厚生サービス制度においては、全国的に会員数の確保が難しくなっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区内中小企業の勤労者すべてが総合的な福利厚生サービスが受けられる公的な制度の長期的な継続が求められています。
	今後の予測	福利厚生について大企業勤労者とは格差のある中小企業勤労者への公的な制度は、引き続き求められていくものと考えられます。
	評価と課題	(財)杉並区勤労者福祉協会は、中小企業の福利厚生事業を補完する役割として一定の成果を果たしてきました。平成24年度から、区が事業を引き継ぎましたが、利用者(平成23年度までは「会員」)数の減少が続いているため、中小企業者や勤労者の方々に対し積極的にPR・勧誘活動を行い、参加事業所数を増やしていく必要があります。また、事業内容を勤労者のニーズによりマッチするよう見直しをしていく必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input checked="" type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	平成23年度末に(財)杉並区勤労者福祉協会を解散し、当事業は廃止となりました。平成24年度からは、勤労者福祉事業を区が引き継ぎました。窓口(事務所)も、平成24年5月末に、勤労福祉会館から荻窪駅近くの産業振興センター内に移転し、利用者の方々への交通の利便性を高めました。 当面は協会で行っていた事業の規模や質を維持しつつ、利用者数の拡大を図っていくためにも、事業の積極的なPRや、勤労者のニーズによりマッチするよう事業内容の見直しを図っていきます。また、区が事業の実施主体となることで、区関係部署や区内産業団体とも連携を深めながら事業を展開していきます。 今後も中小企業の厳しい経営状況が続くことが予想されるため、経営や雇用の情勢にも注視しながら、勤労者のスキルアップ・雇用安定や、経営支援に繋がるような勤労者支援をすすめていきます。		

特記事項	
------	--